



小林市スクールサポートセンター(略称SSC)は、小林市内小学校11校、中学校8校の事務職員21名で構成する学校事務の共同実施組織です。

小林小学校に事務局を置いて、教育委員会と連携・協働しながら、子どもたちの豊かな学びをサポートするために、学校間ネットワークシステムや学校サポートシステム、事業型予算要求システムの開発・運用にあっています。

学校間ネットワークシステム

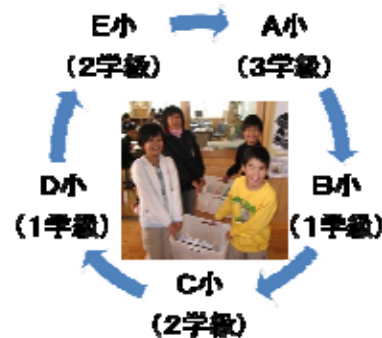
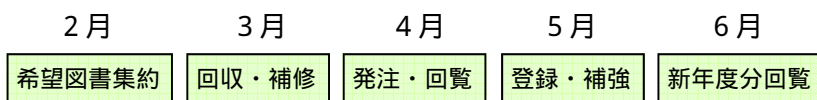
子どもたちのすてきな出会いのために

1 SSC文庫学校間回覧システム

学級単位で1セット(約30冊)にした児童図書を小学校間で毎月回覧するシステムです。

現在、約3000冊の本が市内の全小学校で回覧されています。

SSC文庫の回覧は学校、地域ボランティア、SSCの連携・協働による取組で進められています。



図書を購入する予算は？

各小学校の予算の一部(児童数割)をSSCに配分して、図書を共同購入しています。

このシステムを運用することで、小規模の小学校でも少ない予算で多くの図書に出会えることとなります。

図書の登録やコーティング作業は？

SSCのスタッフに加えて、保護者や読み聞かせボランティアの方々のご協力をいただいています。



2 視聴覚教材情報共有システム



市内の小中学校が所有する視聴覚教材(ビデオ、DVD等)のライブラリーです。

約900本が登録されており、地域イントラネット上で、どの学校からでも、検索・閲覧ができるシステムです。

対象学年や視聴時間、内容の要約等が記述しており、一部はインターネット上の詳しい製品情報とリンクしています。

3 視聴覚機器リサイクルシステム

市内の小中学校で不具合が生じているCDラジカセ、ビデオデッキ、マイク等について、一斉点検を行い、SSCで修理・廃棄の別を判断して、修理及び廃棄手続きにあたるとともに、必要に応じて、各学校へ提供（貸出）するシステムです。このシステムを運用することで、視聴覚機器類の有効活用を図るとともに、地球にやさしいリサイクルシステムを構築しています。



4 学校支援人材活用システム

各学校で活用実績のある地域人材や専門的な人材の情報を各学校に提供しています。

「総合的な学習の時間」やクラブ活動、各教科などの中で、英語活動や茶道、リコーダー指導などの授業協力をしていただくことで、より一層教育効果を高めることができます。

学校サポートシステム

先生と向き合う時間を大切にするために

1 文書情報共有システム



地域イントラネット上で、文書の配信、受信、発信、保存を一体的に処理するシステムです。教育委員会から配信された文書は、各学校の受信簿に登録されると同時に保存されます。

このシステムを運用することで、学校と教育委員会のペーパーレス化及び文書事務の効率化を図ることができます。

2 作品募集情報提供システム

夏季休業中の作品募集情報を一覧表にして各小学校へ提供するシステムで、地域イントラネット上で、最新の作品募集情報を閲覧・出力することができます。このシステムを運用することで、各学校における担当者の事務負担軽減を図ることができます。

3 学校集金総合管理システム

給食費、教材費、校外活動費、PTA会費等の保護者負担経費を総合的に管理するシステムです。

このシステムを運用することで、学級担任等の事務負担を大幅に削減することができます。



4 学校集金サポートシステム



給食費等の校納金の未収について、請求、督促等のマニュアルを提供するとともに、裁判訴訟手続きをサポートするシステムです。

このシステムを運用することで、市内小中学校の未収金対応の標準化を図るとともに、裁判訴訟手続きに係る各学校の事務負担を軽減することができます。

SSC重点戦略2009

学校間ネットワークシステム

子どもたちのすてきな出会いのために

1 教材教具情報共有システム

地域イントラネット上で、どの学校からでも市内の小中学校の教材教具（備品）の検索・閲覧ができるシステムを構築します。このシステムを運用することで、各学校間での教材教具の有効活用及び予算執行の効率化を促進することができます。

2 学校図書情報共有システム

地域イントラネット上で、どの学校からでも市内小中学校の図書の検索・閲覧ができるシステムを構築します。このシステムを運用することで、学校間での図書の有効活用や、児童生徒の読書意欲の向上を図ることができます。

3 こすもす科指導資料共有システム

地域イントラネット上で、地域の歴史や文化を学ぶ「こすもす科」の各単元で必要となる指導案、提示資料等を閲覧・検索・出力できるシステムを構築します。このシステムを運用することで、「こすもす科」における授業効果を高めることができます。



学校サポートシステム

先生と向き合う時間を大切にするために

1 校務情報共有システム



校内LANの環境を有効に活用するため、現在運用している文書情報共有システムのバージョンアップを図ります。

本年度は、学校内外の文書について、閲覧を要する職員に配信したり、行事等の実施計画を日課に表示したりするシステムをソフト会社と共同で開発します。このシステムを運用することで、ペーパーレス化の推進及び諸会議の精選を図ることができます。

2 児童生徒情報管理システム

各種児童生徒名簿、指導要録（学籍の記録）、全課程修了者名簿、住所タックシール、名前シール等を出力するシステムを構築します。このシステムを運用することで、個人情報 の適正管理や危機管理体制の整備を図るとともに、学級担任等の事務負担を軽減することができます。システム開発後は、各学校における環境設定も含めて、導入サポートにあたります。



3 アンケート集計システム

大学の先生たちが開発したフリーソフトで、アンケートの集計やグラフ化を自動的に処理します。このソフトを活用して、市内各学校のアンケート用紙の作成及び集計処理をSSCで行います。このシステムを運用することで、各学校における事務負担軽減を図ることができます。

事業型予算要求システム

よりいっそう学習効果を高めるために

教育課程と予算編成の一体化

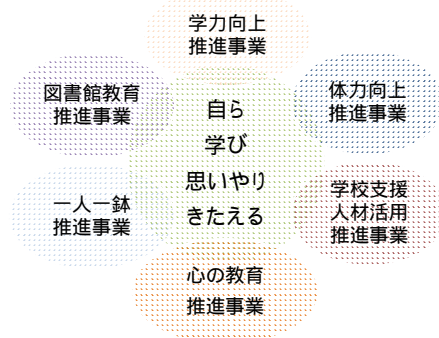
小林市では、平成19年度から、各学校の教育目標の実現のためにどんな事業を構築するかを問う事業型予算要求システムを導入しています。

各学校は、事業名、事業の現況、効果、予算費目等を記述したシートを次年度の予算要求書として、教育委員会に提出します。

このシステムを運用することで、教育課程と予算編成が一体化され、これまで以上に学校予算の有効活用を図ることができます。

また、学校予算の用途について、事業別に保護者等へ説明責任を果たすことができるようになります。

学校教育目標と関連事業



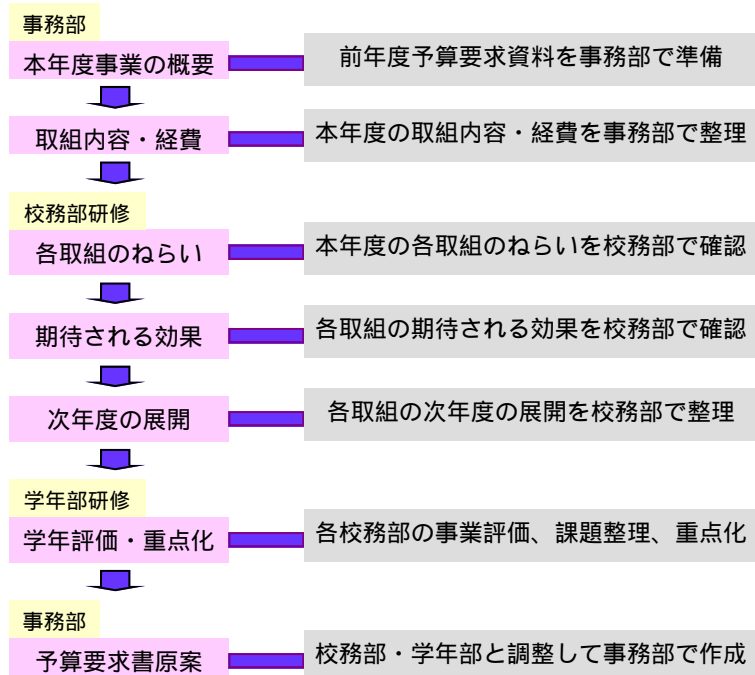
先生の知恵やアイデア

夏季休業中に全教職員による校内研修「学校財務マネジメント研修」を実施して、先生たちの知恵やアイデアを次年度の予算要求に反映する取組を進めています。



同じ50万円でも・・・

学校財務マネジメント研修の流れ



文部科学省は、特色ある学校づくり・信頼される学校づくりに資するよう、学校予算の効果的な配分・活用方法について検討を行う「学校予算の効果的な配分・活用方法に関する調査研究」を実施するとして、研究委託先を公募しました。

小林市教育委員会は、事業型予算要求システムの取組を強化するため、この事業に応募して、研究委託先に決定しました。

SSCは、教育委員会と連携・協働しながら、教育効果を高め、学校の活性化を図るための事業型予算要求システムの充実・深化に努めてまいります。

平成21年度文科省研究委託事業

学校予算の効果的な配分・活用方法に関する調査研究

